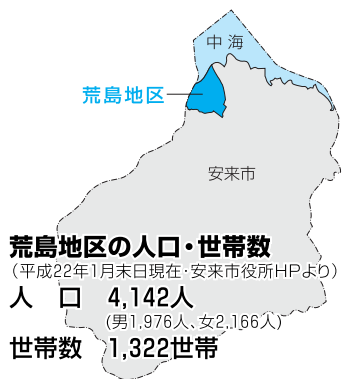


ふるさと通信

No.17号

平成22年2月25日編集・発行
荒島地区活性化推進協議会

最新のお知らせは、こちらへ▶ホームページ <http://yasugi-arashima.com>



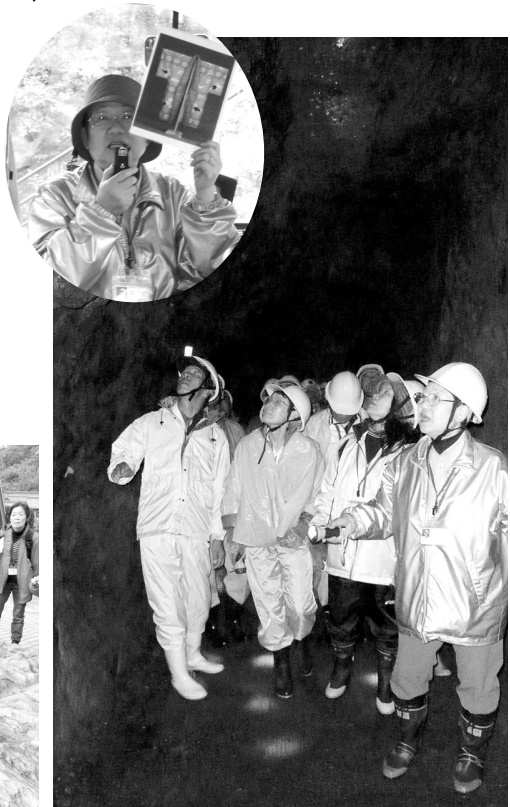
石見銀山遺跡で有志がガイドの勉強 講師は、(石見銀山) 会長の和上豊子さん(元荒島小教諭)

活性化推進協議会では、荒島を訪れた人たちに、古墳などを解説するボランティアガイドの育成に取り組んでいます。そこで、昨年には有志二十人が世界遺産「石見銀山遺跡」を訪ね、ガイドの研修を行いました。

現地でガイドしていただきたいのは、「石見銀山ガイドの会」会長の和上豊子さん(仁摩町在住)。三十年ほど前、荒島小学校で教鞭を執っておられたこともありです。

当日は小雨の降る中、大森の古い町並みを散策した後、約六百を数える石見銀山の間部(坑道)でも、最大級の大久保間歩に入り、その威容を体感。午後からは銀の積み出し港だった温泉津港も見学しました。

和上会長は、地元の人でしか知らないネタも交えて面白く、楽しくガイドしながら、「ガイドの役割は、観光を感動にかえること」として、「(史跡の)語り手と守り手、人(訪問者)



と人(地元住民)との懸け橋になりましよう」と熱く話しておられました。

さらに、心に残るガイドを行うためには「①地域との連携、応援②行政との連絡・応援③史跡だけでなく木や花、小鳥など、その魅力を見つけ、全国各地の遺跡なども調べて、魅力あるガイドさんになってください」と、かつての任地の私たちにハツパをかけていただきました。

年明けの一月には交流センターで反省会を開き、今年は



和上会長を招いて、町民の皆さんと一緒に石見銀山遺跡とガイドのお話を聞く集いを計画しています。詳細が決まれば、お知らせします。

安来市の環境教育実践集で紹介 荒島小の「久白川や中海の水質浄化の取り組み」

市内の各小学校で取り組まれている環境教育の現状をまとめた冊子が、発行されました。荒島駅活性化部会会員が、全面協力する荒島小四年生の久白川や中海の水質浄化の取り組みも、六ページにわたって紹介されています。

「本の川が、町の環境のパロメーター」と題し、久白川の源流探しに始まり二年を通して水質や生き物・ゴミの種類と数、そして中海での観測など活動の様子と、児童の感想が掲載されています。

山崎道弘校長は「児童が現



▲荒島小での環境教育の様子を紹介した実践集

地へ足を運び、自分の目で見て調べることで、「ふるさと荒島」を大切に思う意識が高まった」と感謝し、「地域の方々とさらに連携を強め、環境を含めた教育全般の充実に向けていきたい」と抱負を話しています。

この小冊子は小学校と交流センターにあります。安来市役所ホームページの「安来市の環境教育」でも見られます。ぜひご一読を！

平成二十一年度の組織体制は、次の通りです。

- ◎ 〓 部長、〓 〓 副部長、〓 〓 幹事長
- 【会長】 大槻嘉光
- 【副会長】 島田毅 佐々木碩俊、坂田晋作
- 【まちづくり部】
 - ◎ 島田 誠
 - ◎ 角敏夫 平井 守 ◇ 金元克巳
- 【イベント部】
 - ◎ 渡部 栄
 - ◎ 遠藤敏春 原田吉郎 ◇ 立平孝経
- 【荒島駅活性化部】
 - ◎ 近藤 充広
 - ◎ 鈴木博也、小笹俊郎 ◇ 平井 薫
- 【古墳公園部】
 - ◎ 本田 邦光
 - ◎ 清水和夫、那須要 ◇ 前田保志
- 【広報文化部】
 - ◎ 加藤 章人
 - ◎ 嘉本祐一、若林豊 ◇ 田部光男
- 【荒島地域ガイド部】
 - ◎ 岸井 正憲
 - ◎ 古志野 郁美 ◇ 小村修司
- 【王陵の丘管理部】
 - ◎ 勝部 眞
- 【荒島駅前自転車駐車場管理部】
 - ◎ 西山 暁三
- 【事務局】
 - 局長 〓 平井清志、次長 〓 内田雅己
- 【会計】
 - 協議会会計 〓 小松正樹
 - 指定管理者会計 〓 佐々木伸子
- 【監査役】 遠藤文次、勝部幸治



連携を深め、新たな発展をめざして

荒島地区活性化推進協議会

会長 大槻 嘉光

新会長に大槻嘉光さん(南天神) 事務局長は平井清志さん(上荒島)

板持昇会長、岸井正憲副会長が二十年度で退任されたのに伴い、新しい荒島地区活性化推進協議会(二十一年度)の体

制は、次の通りです。新会長には、前副会長の大槻嘉光さん(南天神)が、また副会長は島田毅さん(久白)、坂

田晋作さん(神塚) 〓 〓 ずれも再任 〓 〓 に加え、新たに佐々木碩俊さん(大東)が、また事務局長には新たに平井清志さん(上荒島)が、それぞれ就任しました。よろしくお祈りします。

このたび、荒島地区の発展を願い設立され、歴代会長が築いてこられた荒島地区活性化推進協議会の会長に推挙いただきましたことは、まことに光栄に存じ、身の引き締まる思いです。

ご承知の通り、この荒島地区活性化推進協議会では、八つの部会を設け、それぞれの部が「荒島のために」という地域への強い思いを共有し、さまざまな活動を展開しています。本会のように、地域の住民による自主的な組織で、それも会費による運営というユニ

ークな活動は、安来市当局はもちろん、他の地域からも高く評価されています。これも歴代の会長や役員をはじめ、町民の皆さんのご理解とご協力の賜物と思っています。こういった本会の活動成果

の二つが、福井県福井市の東藤島地区との交流に結びついています。東藤島地区とは、お互いに切磋琢磨し合いながら、それぞれ地域の振興に貢献していきたいと思っています。また、私たちの荒島地区は、青年協議会をはじめ地区内で活動される各種団体との絆

が強く、あらゆる活動に連携して取り組むことができます。とは、他の地域にはない荒島の大きな財産であると、胸を張って言えるでしょう。

これからも、こうした各種団体との連携をさらに進めて、こどもたちからお年寄りまで、この荒島地区に暮らすすべての人たちに心から喜んでいただける、参加していただけるような地域づくりの活動を模索していきたいと思っています。皆さま方の力強いご支援とご協力をお願い申し上げます。あいさつと致します。



荒島と東藤島の「友情の花 越前水仙」が咲きました。

王陵の丘登山道の中腹などで、清楚なスイセンの花が咲き始め、訪れた人たちを迎えています。

このスイセンは、昨年の健康ウォークの際、福井県東藤島地区の皆さんから、「記念に」といただいた福井県の県花「越前水仙」です。

十月下旬に球根を植え、二月二十日過ぎにやっと開花しました。荒島と東藤島地区の「友情の花」といえる越前水仙を、みんなで大切に、増やしていきたいです。王陵の丘を管理する勝部眞さんによれば、桜や約一万本あるツツジもこれまでになく花付きが良いそうです。また最西端にある造山3号墳の南西斜面の桜十本も下刈りし、さらに登り口の南側にある休耕地には、活性化役員がレンゲ草(ミヤコ)の種子をまきました。それぞれの花の見ごろには、おそろいでお出かけください。